

# 物価高騰対策



なるみ けいや  
鳴海 圭矢 議員

私の視点「なぜここを質問したか」  
町民から要望が強い物価高騰対策。独自のアンケート調査の結果、水道料金減免と学校給食無償化に絞って質問した。

## 今後の物価高騰対策は



録画配信は  
こちらから▶

答弁 (町長) 交付金を活用し、  
効率的で効果的な事業を進める

- 問** 物価高騰対策は喫緊の課題といえるが、水道料金の基本料金減免については、本年度に引き続き実施を求める声が非常に大きい。来年度も実施する考えはか。
- 答** 企画財政課長  
現段階で国の交付金の額・詳細が明らかではないが、今回、国から新たに示された交付金×ニューの中には水道基本料金の減免が追加される予定である。具体的な事業については今後十分に協議していきたい。
- 問** 減免期間の延長を求める声もあるが延長は可能か。
- 答** 企画財政課長  
期間を延ばすことは可能だが、国の交付金の総額や他事業費との関係で、どの程度の予算を充てられるかについて検討が必要である。  
上水道を利用していない世帯への対応については慎重に検討したい。
- 問** 学校給食の無償化は、国の対応を待たずに町独自で早期に実施する考えはないか。
- 答** 学校教育課長  
町として早期に実施する考えはない。当町としては国の動きに沿って進めていく。
- 問** 無償化されたとしても安全性と質の維持は担保されるべきであるが、町の対応は。
- 答** 学校教育課長  
無償化されても、栄養バランスなどが考えられた献立を作成し、安全性や質の確保に努めた。
- 問** アレルギーなどの理由で学校給食を食べられない場合、補助金を出す自治体もあるが、本町の方針は。
- 答** 学校教育課長  
本町でも補助を考えている。今後、上司とも協議して決定していきたい。

**上水道の基本料金を3ヵ月分減免します。**

※対象となる方  
宇美町で、上水道に接続しているが、水道料金を支払っていない方で、その使用用途が「家庭用」である方。  
宇美町上水道事業に利用していない(貸付利用等)方は、上水道基本料金の減免対象とはなりません。

【対象月】  
令和7年8月(課金分)から10月(課金分)までの3ヵ月分

【減免額(税込)】11万円未満以上15万円未満の場合

月 額	1ヵ月分(課金額)	3ヵ月分(減免額)
標準額	1,200円	3,700円
最高額	1,800円	5,400円

問い合わせ先  
課金課 宇美町役場 上下水道課  
TEL: 097-924-2224 (直通)  
宇美町役場 総務課  
TEL: 097-924-2228 (直通)

令和7年度に実施された減免



質問を終えて  
物価高騰は今後も続く。賃上げなど抜本的な対策が必要である。

問 物価高騰対策の今後の方針は。  
答 町長  
効率的で効果的な事業を実施していく必要がある。交付金の額が示されていないが、食料品の物価高騰に対する施策は、全ての町民の皆さんに支援が行き渡るよう、スピード感をもって実施していきたい。

# 地域防災



私の視点「なぜここを質問したか」  
隣近所のつながりが薄れる中、防災を通じて地域の交流を促し、防災力向上へ一歩前進となるよう自主防災の必要性、防災・減災の今後の方向性を問う。

くろかわ さとる  
黒川 悟 議員

## 地域防災力の総合的な底上げを



録画配信は  
こちらから▶

答弁 (町長) 地域防災力の向上に取り組む

- 問** 大規模災害に備えた民間事業者との災害時応援協定の現状は。
- 答** 地域コミュニティ課長  
令和7年10月末現在、24の協定を締結している。  
主にライフラインなどの応急復旧を行う土木、管工事、建築、造園などの組合、情報通信事業者など。  
今後必要な災害時応援協定の締結を進めていく。
- 問** 災害用トイレトラックの進捗状況は。
- 答** 地域コミュニティ課長  
予定どおり進んでいる。  
今後は災害派遣トイレネットワークに加入し、全国の加入自治体と相互支援する体制に加わる予定としている。
- 問** 機能別消防団員の現状と少年消防クラブ導入の考えは。
- 答** 地域コミュニティ課長  
機能別消防団員の必要性は認識しているが、現在、団員確保には至っていない。
- 問** 学校給食の無償化は、国の対応を待たずに町独自で早期に実施する考えはないか。
- 答** 学校教育課長  
町として早期に実施する考えはない。当町としては国の動きに沿って進めていく。
- 問** 無償化されたとしても安全性と質の維持は担保されるべきであるが、町の対応は。
- 答** 学校教育課長  
無償化されても、栄養バランスなどが考えられた献立を作成し、安全性や質の確保に努めた。
- 問** アレルギーなどの理由で学校給食を食べられない場合、補助金を出す自治体もあるが、本町の方針は。
- 答** 学校教育課長  
本町でも補助を考えている。今後、上司とも協議して決定していきたい。
- 問** 地域防災力の底上げを図るための今後の方針は。
- 答** 町長  
令和5年度から「今後の宇美町消防団を考える懇談会」を設置し、関係団体等の代表を交え、消防団の組織、運営の在り方、団員の確保についての意見交換を行っている。  
その中で、地域の防災訓練への参加や機能別消防団員の検討などがあり、取組が必要と考える。  
自主防災組織の課題としては、専門的な知識を有する防災リーダー不足があり、課題解決のため、議会と粕屋南部消防本部を交えた研修や地域防災についての意見交換を行った。  
現在、防災士の資格取得を推進し、地域の防災リーダー育成



地域防災力の向上をめざした各自治会での取組の一例



質問を終えて  
自主防災組織を活性化し、防災を切り口に自治会加入促進につながることを期待したい。

※機能別消防団とは  
通常の消防団員が対応しきれない大規模災害時や特定の専門分野に特化して活動する団員のこと